



FIELD-TERRACE

新機能

更新日 2021/1/26 (バージョン 1.0.1150)

**FIELD-TERRACE (2021/1/26) の
新機能をご紹介します。**

目次

新機能

FIELD-TERRACE

更新日 2021/1/26 (バージョン 1.0.1150)

1 接続設定 TS P.1

1-1 Nikon-Trimble社の「FOCUS35」に対応 _____ 1

2 GNSS P.3

2-1 RMS値表示対応 _____ 3

3 遠隔検査 P.4

3-1 CIMPHONY Plusと連携した「遠隔検査」に対応 _____ 4

1 接続設定 TS

1-1 Nikon-Trimble 社の「FOCUS35」に対応

Nikon-Trimble社の「FOCUS35」との接続に対応しました。



接続方法は「Bluetooth」「Bluetooth（無線機）」から選択できます。

- Bluetooth
内蔵Bluetooth、Parani SD1000U による接続
- Bluetooth（無線機）
無線機による接続



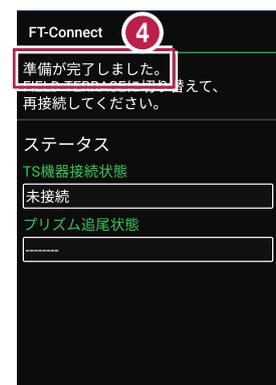
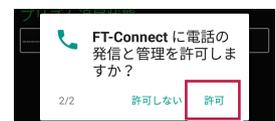
FOCUS35と接続する場合は、接続前にFIELD-TERRACEと同じ端末に「FT-Connect」をインストールして起動する必要があります。（※インストール時にはインターネット接続環境が必要です。）

1 Google Play ストアで「福井コンピュータ」または「FT-Connect」を検索してインストールします。

2 インストールが終わったら、[開く] をタップします。

3 許可の確認画面では、[許可] をタップします。

4 「準備が完了しました。」と表示されたら、FT-Connectの操作は完了です。



既に FIELD-TERRACE をご利用中の場合は

器械との接続画面で「FOCUS35」を選択すると Google Play ストアの「FT-Connect」のページが開きますので、そこからインストールすることができます。

1 ホーム画面の「接続」をタップします。

2 「Nikon-Trimble」
「FOCUS35」
を選択します。

3 「接続」をタップします。

4 「閉じる」をタップします。

5 Google Play ストアの
「FT-Connect」のページ
が開きます。
「インストール」をタップ
してインストールします。

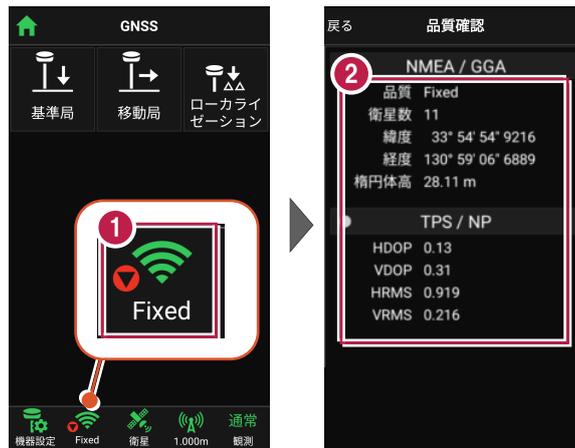


2 GNSS

2-1 RMS 値表示対応

GNSS機器の受信ステータスで、従来の「DOP値」に加えて「RMS値」の確認ができるように対応しました。

- 1 画面下の受信ステータスのアイコンをタップします。
- 2 受信が開始され、経度・緯度や受信の品質などが表示されます。



観測方法によって表示項目は異なります

GNSSの観測方法により、品質確認に表示される項目は異なります。

DOP値とは

測位精度の目安。一般的に数値が3.0より小さいことが目安。

RMS値とは

測位精度の目安（単位：m）。

数値の半径内に、63～68%の確率で存在。

【RTK・VRS】

品質確認	
NMEA / GGA	
品質	Fixed
衛星数	11
緯度	33° 54' 54" 9216
経度	130° 59' 06" 6889
楕円体高	28.11 m
TPS / NP	
HDOP	0.13
VDOP	0.31
HRMS	0.919
VRMS	0.216

【汎用NMEA】

品質確認	
NMEA / GGA	
品質	Fixed
衛星数	10
緯度	36° 34' 38" 4329
経度	139° 17' 36" 1941
楕円体高	40.20 m
NMEA / GSA	
PDOP	6.68
HDOP	7.51
VDOP	8.75
NMEA / GST	
緯度RMS	0.081
経度RMS	0.709
高度RMS	0.348

3 遠隔検査

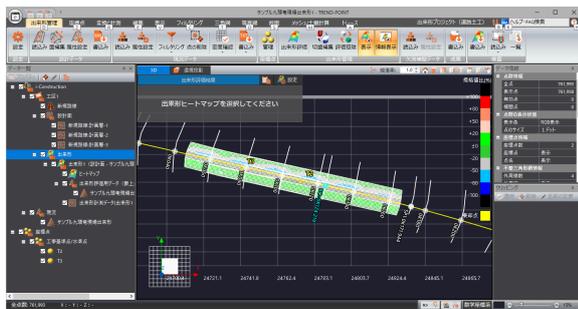
3-1 CIMPHONY Plus と連携した「遠隔検査」に対応

CIMPHONY Plus と連携して、遠隔地にいる受発注者間でリモート検査がおこなえるように対応しました。

- ※ 遠隔検査を行うには、CIMPHONY Plus Professional プランの契約が必要です。
- ※ CIMPHONY Plus と FIELD-TERRACE の通信には、インターネット接続環境が必要です。

■ TREND-POINT の出来形ヒートマップデータを登録します

TREND-POINT の「出来形ヒートマップデータ」(fph ファイル) を CIMPHONY Plus に登録して、検査データを作成します。



■ 検査情報を設定します

CIMPHONY Plus で、遠隔検査を行うための基本情報や実施者を設定します。



■ 遠隔検査を行います

CIMPHONY Plus から検査点の座標を FIELD-TERRACE に送信します。

検査点一覧				
No	点名	検査状況	判定	
検査開始	1	1	未検査	-
検査開始	2	2	未検査	-
検査開始	3	3	未検査	-
検査開始	4	4	未検査	-
検査開始	5	5	未検査	-
検査開始	6	6	未検査	-

FIELD-TERRACE で受信した検査点を計測し、CIMPHONY Plus に計測結果を送信します。



CIMPHONY Plus で計測結果を受信して、検査結果を確認します。

判定	○	
検査点	項目	検査結果
1	点名	1
24726.164	X座標	24726.165
11183.706	Y座標	11183.706
23.675	Z座標	23.564
23.675	設計高	23.675
0.000	標高差	-0.111 ↓
±0.150	規格値	±0.150
0	規格値比 (%)	-74

確認を終えたら次の検査点の座標を FIELD-TERRACE に送信して、遠隔検査を続けます。

検査点一覧				
No	点名	検査状況	判定	
検査開始	1	1	検査済	○
検査開始	2	2	未検査	-
検査開始	3	3	未検査	-
検査開始	4	4	未検査	-
検査開始	5	5	未検査	-
検査開始	6	6	未検査	-



■ 検査結果一覧を確認します

遠隔検査を終えたら、結果の一覧を CIMPHONY Plus で確認します。

No	点名	X座標	Y座標	Z座標	設計面標高	標高較差	規格値	規格値比 (%)	判定
1	1	24726.165	11183.706	23.564	23.675	-0.111	±0.150	74	○
2	2	24746.223	11179.092	23.562	23.673	-0.111	±0.150	74	○
3	3	24765.427	11174.700	23.563	23.675	-0.112	±0.150	75	○
4	4	24784.584	11170.320	23.567	23.678	-0.111	±0.150	74	○
5	5	24804.899	11165.628	23.674	23.681	-0.007	±0.150	5	○
6	6	24824.386	11161.121	23.589	23.683	-0.094	±0.150	-63	○

座標SIMA出力 コピー